

# 「山形県ジュニアバドミントンを支援する会」の活動報告 並びに令和5年度協力金(醸金)のお願い

山形県ジュニアバドミントンを支援する会」は、歴史ある「山形県ジュニアバドミントン育成会」が、これまで築いてきた功績を礎とし、本県におけるジュニアバドミントン界の普及・振興と東北・全国・世界で活躍する選手の輩出を願い、本県の小学生・中学生・高校生の為、「ジュニア強化」、「ジュニア育成」、「優秀選手激励」の3本柱を掲げ、本会趣旨賛同者への協力金依頼、ジュニア選手等への支援並びに本会活動周知の為の広報活動等を展開するものです。

◆令和4年度の協力金(醸金)  
81万9千円(136の個人・団体さま)  
お寄せいただいたご好意に対し  
深く感謝申し上げます。

## ◆協力金(醸金)の主な用途

- ・事業費(県小学生連盟助成金、全国大会等出場選手激励金、県中体連専門部強化合宿シャトル支援、JOC県予選会助成金、各地区協会活動支援金等)
- ・運営費(会議費、事務費・通信費等)



### ◆県小学生連盟への助成金の贈呈

・第1回 R4.8.20 県体育館  
(県小学生学年別選手権会場)



・第2回 R5.3.19 山形Gホテル  
(県協会総会会場)



◆JOC県予選会へ後援金の贈呈  
◆県中体連強化へシャトルの支援  
(R4.8.11 鶴岡市小真木原体)



◆令和5年度総会  
(R5.5.21 県スポーツ会館)

令和5年度も皆さまのご理解とご支援を  
よろしく願いいたします!  
く山形県ジュニアバドミントンを支援する会  
会長：岡田壽紀 / 理事長：加藤安史 / 事務局長：三浦卓夫

## 1 運営方針

山形県ジュニアバドミントンを支援する会は、歴史ある山形県ジュニアバドミントン育成会が、これまで築いてきた功績を礎とし、本県におけるジュニアバドミントン界の普及・振興と東北・全国・世界で活躍する選手の輩出を願い、本県の小学生・中学生・高校生の為、「ジュニア強化」、「ジュニア育成」、「優秀選手激励」の3本柱を掲げ、本会趣旨賛同者への協力金依頼、ジュニア選手等への支援並びに本会活動周知の為の広報活動等を展開する。

ジュニア層  
支援活動

<現場を応援し、ともに行動します>

広報活動

<新たな活動を発信します>

本会趣旨賛同者への協力金依頼活動

<ご支援下さる皆さまに感謝し、有効に活用します>

## 2 ジュニア層支援活動の方策

### (1) ジュニア強化（競技力向上）

#### ① 小・中・高校生合同強化練習会支援

小・中・高トップ選手の交流により、選手間の絆を深めたり、また県外強豪校との交流する機会を得ながら競技力向上を図る。

#### ② 県中体連専門部強化合宿支援

### (2) ジュニア育成（普及・振興）

#### ① 山形県小学生バドミントン連盟運営費助成

#### ② JOC山形県予選会運営費助成

#### ③ 地区協会活動費助成

### (3) 優秀選手激励（激励金贈呈）

#### ① 東北予選を突破した、全国大会出場選手&チーム

#### ② ジュニアナショナルチームに選出された選手

#### ③ 庄内国際大会に選抜された本県選手

## 3 広報活動の展開

### (1) 山形県バドミントン協会広報誌への寄稿

### (2) 山形県バドミントン協会ホームページへの掲載

## 4 協力金依頼活動の継続

### (1) 継続会員からの確実な徴収（各種大会・会議の活用）

### (2) 新規会員の拡大（趣意書の配布、地区協会との連携）

## 【本会改称について】

山形県ジュニアバドミントン育成会は、設立から四半世紀を迎え、その継続した取り組みの成果として、東北・全国で活躍する本県選手が数多く輩出され、当初に掲げたジュニア層からの競技力向上に大きく貢献したこれまでの功績は大きい。

しかしながら近年は、隣接県に全国トップレベルの選手が集まる強豪校が出現したり、本県の優秀選手の県外流出が顕著であったり、取り組まなければならない課題が山積する現状である。

そこで、ジュニア育成会が培ってきた歴史と伝統を踏まえ、名称を「山形県ジュニアバドミントンを支援する会」に改め、全国でも稀な本会の更なる充実と発展のため、運営方針等を刷新して、役員・スタッフ一丸となって本会目的達成の為にまい進する。